

ISOの強化プログラム

経営を強化する6つのプロセス (No.1)

1. 目的

ISOの基盤を強化しその有効性を高めるには、「6つの強化するプロセス」に取り組む必要がある。これらのプロセスは経営管理システムの向上に欠かせない。

2. 強化するプロセス

① 経営課題を踏まえた目標管理

SWOT分析等を活用して、内外の課題に即した戦略目標の設定から始まる。

その目標を各部門に展開して、PDCAのサイクルを効果的に回す。

ISOとビジネスを融合する鍵となるプロセスである。

経営課題を踏まえた目標管理



1. 新規格の要求事項
2. 戦略に基づく目標展開
 - ・目標展開と経営者の役割
 - ・ISOマネジメントとビジネスマネジメントの融合
2. SWOT分析による目標展開
 - ・戦略目標の設定、バランススコアカード
 - ・ISO目標管理プロセスへの展開
3. 組織の知を表出するナレッジ管理
 - ・ポストイット ・ナレッジシート
4. ファシリテーション型会議の活用

2

② 会社を活性化する内部監査

プロセス内部監査を継続的に推進することにより、各プロセスの有効性を高める。

コミュニケーション力を高める内部監査を実践し、計画的・継続的に組織力をアップするとともに管理者の育成を推進する。

会社を活性化する内部監査



1. 新規格の要求事項
2. 適合性監査とプロセス監査
3. 新規格のプロセス体系
4. 会話型プロセス監査
 - ・計画
 - ・チェックリスト
 - ・実践
 - ・監査員の力量
5. 組織の知識と個の成長

3

③ 多面的なリスク対策と変更管理

不確かなリスク、確立したリスク、変更時リスク、そしてプロセスの課題など、多面的なリスクの取組みを体系的に整理し対処することにより、事業の継続を確実にする。

多面的なリスク対策と変更管理



1. 新規格におけるリスク及び変更の要求事項
2. 実践的なリスク対策
 - ・リスクの基本的考え方
 - ・企業リスクの全体像
 - ・ISO統合はリスク強化
 - ・リスク別対応の違い
3. 変更管理による予防対策
 - ・計画段階の変更管理
 - ・運用段階の変更管理
 - ・評価段階の変更管理

④ 効果的な要員教育

教育システムの体系化（キャリアステップと必要な力量）を確立し、現状の要員や管理職の課題に立脚した実践的教育プログラムを推進する。また、従事者の自覚教育を促進するプログラムも実践する。

効果的な要員教育



1. 新規格の要求事項
2. 教育訓練プロセスの全体像
3. 教育システムの体系化
4. 実践的教育訓練プロセス
 - ・ 潜在的な問題点に事例
 - ・ 変更点発生事例
 - ・ 継続的な要員教育
 - ・ 自覚教育のポイント

⑤ 不適合と再発防止の強化

不適合の全体像を明らかにすると共に、それぞれの不適合について適切な是正処理が実践できるようにする。

不適合と再発防止の強化



1. 新規格の要求事項
2. 不適合の全体像を把握
3. 不適合と是正処理の連動
4. 原因分析の多面化
5. データ分析の必要性

⑥ 外部提供先の管理

外部提供者活用目的とメリットを明らかにすると共に、委託業務プロセスの評価を確実に行う。利害関係者である委託先と互恵関係の強化に取り組む

共存共栄をめざす外部提供先の管理



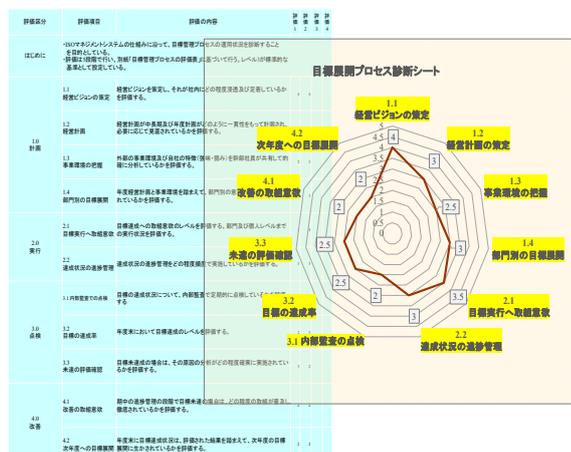
1. 新規格の要求事項
2. 外部提供者との互恵関係
3. 外部提供者の目的
4. 外部提供者の評価・選定
5. 外部提供者の管理方法

3. 成熟度診断シート

プロセスの診断シートの事例
経営目標癩癩プロセス

■ 目標管理シート

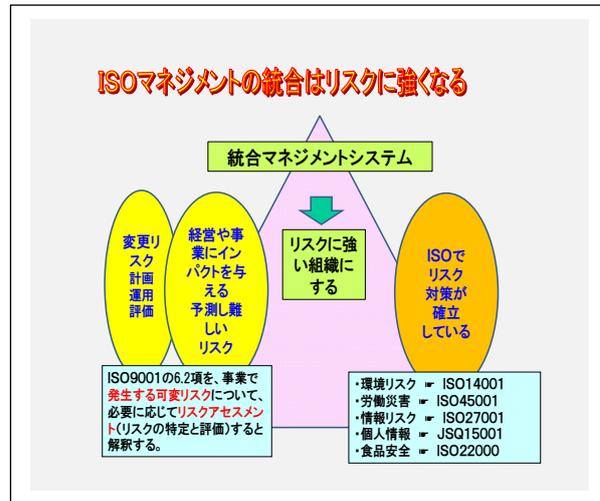
**プロセス診断シートの事例
(経営目標展開プロセス)**



I S Oの統合化 (No.2)

1. 統合化の目的

- ① 品質を基軸に置いた I S Oの統合化をすれば、業務に密着したリスク対策が推進できる。
- ② 環境、情報セキュリティ、Pマーク、食品安全の I S O認証においても、品質の要素を取り込めば、リスク対策の強化と仕事の改善が推進できる。
- ③ 文書システム及びシステム運用の効率化が追求できる。



2. マネジメントシステム統合化の事例

- ① 品質と環境 ▣ [品質・環境統合プロセスの体系図](#)
- ② 情報セキュリティと個人情報
- ③ 品質と情報セキュリティ
- ④ 品質と食品安全